

ひだまり

hidamari

第77号

- 1 散歩道
- 2 さくら千手園
いつも力を合わせて
- 3 木の宮学園
農芸班/ものづくり班/ミニイベント『あつまれ!木の宮の森』
- 4 山桜
レジェンド去る
- 4 地域生活支援センター レインボー
レインボー企画『ブルーベリー狩り』
- 5 南部よもぎの園
さくらんぼ園販売会/スポーツ活動
- 6 佐倉市さくらんぼ園
ファミリーレクリエーション
- 7 さくら福寿苑
納涼祭/敬老会
- 8 秋のイベント
- 10 情報フラッシュ



千手会の総合防災訓練

～散歩道～

2022年9月2日、千手会の総合防災訓練を実施しました。例年、佐倉市危機管理課、地元消防署、消防団、(株)佐倉防災の皆様の御協力を得て、様々な訓練や講習を行っていましたが、コロナ禍の情勢もあり、3年振りの実施となりました。密な状態を避ける為、参加者これまでに参加した事のない入職3年目までの職員を対象としました。

参加者が経験年数の少ない職員という事もあり、防災講話の内容は「なぜ火は燃えるのか?」「なぜ火は消えるのか?」という、火が発生する基本的な条件や、条件に基づいた消火方法等を(株)佐倉防災の専門職の方から学び、実際に消火器の種類の説明等を交えながら話していただきました。

また、自動火災通報装置を実際に作動させ、どのような流れで通報がされるのか、誤報だった場合の対応手順等、実践的な訓練も行いました。

コロナ禍において私達の生活は大きく変わりました。今置かれている状況の中で、利用者や職員の生活が守られるように、今後も様々な形で訓練を重ねていきたいと思っております。

指定障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）

さくら千手園

いつも力を合わせて……

9月8日にやまびこ会主催行事を行いました。

事前から幾度も重ねたやまびこ会役員の会議。役員の方々は出し物の決定や飲食物の種類など、考えをしっかりと述べられて、決定後は着々と準備を進められました。出し物や飾りの製作で「今日これをやっておけば楽になるじゃない。」と、時間がオーバーしても自分の部屋に持ち帰って、黙々と作業をこなされた方もいらつしやいました。

待ちに待った当日、午後から開催された『くじびぎ』、『お菓子釣り』、『ボウリング』、『またあて』の各アトラクションに利用者は熱中し、例年よりも大盛況で、あつという間に時間が過ぎてしまいました。

その後は食堂で、やまびこ会役員の方々が利用者に『アイスクリーム』、『えびせん』、『ベビーカーテラ』、『ジュース』を振る

舞い、利用者の「美味しい。」の声があちこちから聞こえてきました。

利用者の皆さんは笑い、美味しいものに満足し、楽しく、素晴らしい行事になりました。

(森)



やまびこ会主催行事



たくさん笑って、
美味しいものも
たくさん♪



指定生活介護事業所

木の宮学園

農芸班

農芸班では、四季折々の野菜を中心に新鮮な農産物を日々育てています。暖かい日も寒い日も、畑に出て土を耕し、肥料作りを行い、種まきや苗の植え替え、水撒き等をしながら収穫できる日まで大事に育てています。天気は左右されながらも地道に取り組み、秋から冬にかけてはほうれん草、水菜や白菜が収穫できます。雨の日は軒下で松ぼっくりや蔓（つる）、花をドライフラワーに加工してリースや飾り物などの作品を作っています。季節を感じる美味しい野菜や農芸班ならではの作品、1度ぜひお手にとってみてください。

(松田)



ものづくり班

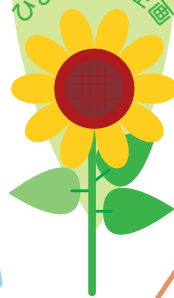
今年度より新たに始まった『ものづくり班』。作業棟から見える、裏山に自生している『楮（こうぞ）』や農芸班の育てた『綿花』を使ってものづくりをしています。楮からは、木の皮をむいて繊維を取り出し、繊維を打ち解す『打解（だかい）』の工程を経て紙漉きをして『和紙作り』。綿花からは綿を取り出し、綿と種に仕分ける『綿繰り』をしていきます。いずれは綿から糸を紡ぎ、布を織り、農芸班の育てた『藍』で染めて藍染作品を作りたい。そんな思いで機織り作業も行っています。身の回りの物を加工して形にしていき、一つの作品にする『ものづくり』。まだまだ形になったものはいませんが、今後のものづくり班に、乞うご期待!! (新井大)



イベント

あつまれ！木の宮の森

ひまわり会企画



暑い夏の日、ひまわり会企画のミニイベントが行われました。イベント内容は夏らしく、『虫取り』（偽物）です！一人ずつ虫かごを持って学園内虫取りに出発！

虫取りエリアは全部で4カ所。1カ所目は暗い部屋の中央に置かれた枯れ葉の入った箱の中から光ると言う虫やクワガタ等の虫を探します。皆さん、暗闇を怖がることなく、箱の中の枯れ葉をかき分けて虫を捕まえていました。2カ所目はアクアビーズが入ったケースの中から虫を探します。あまり見たことのないビーズに少し緊張しながら手を入れると、あれ？触り心地が気持ちいい！と虫探しを忘れて、ビーズを触って楽しんでいました。3カ所目は小さなプールに浮かんだ海の生き物を捕まえます。ポイを使って慎重に捕まえようとしますが、すぐに破れてしまい：手で捕まえた人が多数でした（笑）4カ所目は学園前の木にいる大きな蝶や



どうしたら取れるの？

バッタ、カブトムシ等の虫を虫取り網で捕まえます。この虫、実はヨーヨーなので、虫取り網で引つ張って捕まえようとしても、ゴムが伸びてしまい全然捕まえられない！「蝶が欲しいのに取れない！」、「どうしたら取れるの？」「手伝って」と悪戦苦闘。汗をかきながら、何とか捕まえた虫たちを虫かごに入れると皆さん満足げな表情です。この後の冷たいお茶が美味しかったこと。暑さに負けず、木の宮の夏を皆で満喫しました！ (市瀬)

レジエント去る

山桜で、世話人として勤務していた職員が、5月31日をもって退職することになりました。山桜に異動する前は、本体施設であるさくら千手園の厨房職員として勤務されており、昭和62年の開所当時から勤務されている、勤続年数35年の大ベテラン職員です。千手園のレジエントといっても過言ではありません。料理の味付けはいつも完璧で、利用者の皆さんからも常に高い評価を受けていました。そして、いつも明るく素敵な笑顔は、利用者にとっても、職員にとっても、「佐倉のお母ちゃん」的存在でもありました。退職してしまうことが決まり、利用者の方々に伝えなくてはならないのですが、伝えた後の利用者の悲しむ様子が想像できてしまい、伝えるタイミングを逃してしまいう日々。そして、その時が……

「お話があります。実は……」

どの利用者も言葉を失ってし

山

桜



まい、目に涙が溜まっていく様子が直ぐにわかりました。新型コロナウイルス感染症予防対策のため、小さな送別会となってしまうましたが、利用者の皆さんは、思う存分会話を楽しんでいました。今まで本当にありがとうございました。(金川)

山桜/佐倉市青菅 1049 ☎ 043-462-2008 ✉ sakurasenjuen@deluxe.ocn.ne.jp (さくら千手園)

レインボー
企画

ブルーベリー狩り

地域生活
支援センター

レインボー

新型コロナウイルス感染症拡大で、中止となっていたレインボー企画ですが、2年ぶりに開催し、7月31日にブルーベリー狩りに出かけました。今までの後には、「プラネタリウム」に出かけたり、「流しそうめん大会」を行ったりしていましたが、新型コロナウイルス感染症第7波の真ただ中でしたのでブルーベリー狩りのみの企画でした。それでも前日まで「中止の連絡が来るのではないかと」と皆さん心配していたそうで、集合したときには、皆さまの元気いっばいの笑顔が見られました。企画が開催できなかった2年の間に、就職された方もいたり、「来年はもう30歳になります」という話題が家族より出る方もいたりして、休止していた2年間でとても大きく感じました。

レインボーから車で数分という距離に



ある「出山観光農園」にいつもお世話になっていますが、2年ぶりでも、観光農園の方に温かく迎えていただきました。参加者の皆さまは恒例の企画です。ブルーベリーの畑の中でそれぞれブルーベリーを頬張ったり、持ち帰りパックに詰めたりしていました。

午前中とはいえ暑い日差しの中で摘み取ったブルーベリーは「摘みたて」というよりは「茹でたて」の様な温かさ。皆の第一声は「アチチ」でした。お腹もお土産パックもいっぱいになったところで、観光農園のサービスの冷たい「ブルーベリーシャーベット」を涼しい葡萄棚の下でいただきました。採れたての野菜とフルーツが販売されていて、皆さんお土産を購入していました。一足早い「梨」も売っていて皆さんの人気商品でした。2年ぶりにレインボーに帰ってきた皆さんの笑顔。これからは「ウィズコロナ」で笑顔溢れる企画を立てたいと思います。(須藤哲)



指定就労継続支援B型事業所

南部よもぎの園

指定管理者社会福祉法人千手会

さくらんぼ園販売会

今回で3回目となるさくらんぼ園での販売会。手作り作品の販売と、写真で作る缶バッジ・キーホルダーの販売と、くじ引きを行いました。今年はいくじ引き方法を3種類から選べるようにして、より一層楽しめるようにしました。①紙で作った輪を的に当てて、倒れた数によって景品を選ぶ。②ボールを転が



して入った枠の色から景品を選ぶ。③箱の中に手を入れて握ったボールの色で景品を選ぶ。お子さんそれぞれに合わせて投げ方や転がし方を工夫して、誰でも参加できるようにしました。店員になった利用者は、「倒れた!」「次はどれを狙おうかな」等、応援する声が聞こえてきたり、「景品どれにする?」「見本もあるよ」と子ども達にやさしく声を掛けてくれました。缶バッジ販売の担当者は写真を撮る際に、「こつち向いて!」「笑って!」と被り物を身に付けて、子ども達が笑顔になるように頑張っていました。今年は例年より大きな声でお客様を呼び込んでくれたおかげで、売り上げが大きくアップ!

朝9時から午後1時まで長時間の販売でしたが、昼食にはそれぞれが注文した美味しいお弁当を頂きました。どこからか「仕事の後だから、こんなに美味しいんだね」という声が聞こえてきました。(山本奈)

スポーツ活動

1年前に新しいスポーツ活動で『散歩』について紹介しました。さて今年度はというと、運動

よりもレクリエーションに主軸を置いた活動を室内で行っています。具体的には、テーブル卓球や風船バレー、ペットボトルボウリング、フライングディスクなどです。天気に左右されず、色々な種目があるので、運動が苦手な人でも楽しめたり、気軽に参加できるなどの良さがあります。種目についても随時職員がアイデアをしぼり取り入れていきます。

テーブル卓球はラリーが続かず、いつの間にかエアホッケーになったり、風船バレーは床に落ちずにどれだけ長く続かなかつたり、ボウリングは的当



ての様になったり、フライングディスクは輪投げになったりと内容が変化していききました。

参加人数やメンバーによって、今後の活動はどう変わっていくのか、皆がわくわくドキドキするような内容を模索していきたいと思っています。(佐藤二)



指定福祉型児童発達支援センター 活援助事業所

佐倉市さくらんぼ園

指定管理者 社会福祉法人 千手会

ファミリーレクリエーション

8月6日にファミリーレクリエーションを開催しました。昨年同様、コロナウイルス感染予防の観点から、密を避けるためにうさぎとぼんだ・年中・年長の3回に時間を区切って行いました。いつもとは違うさくらんぼ園の雰囲気を目を輝かせてワクワクしている子、ドキドキしてお父さん・お母さんの後ろをくっついていっている子、様々な姿が見られました。祭りが始まると徐々に雰囲気慣れ、自分の好きな出店に期待して向かっている様子があり、私たち職員も嬉しくなりました。

出店は昨年に引き続き、ボウリング、ヨーヨー釣り、ペットボトルシューター、お面作り。そして今年から新しく加わった箱積みの6つでした。

ペットボトルシューターとは、ペットボトルで作ったトンネルの先に送風機をつけたもので、入り口からボールを入れると風の力で一気にゴールまで通り抜けていきます。風を感じたりたくさんのボールを入れて次々に通り抜ける様子を観察したりしていました。毎年子ども達に大人気で何度も繰り返し遊び、楽しみました。

箱積みは牛乳パックで作った正方形の箱を子ども達のイメージで積んでいきます。箱によっては中に鈴やBB弾が入っています。音が鳴る箱もあります。その箱を見つけて嬉しそうにしている子もいました。

今年も南部よもぎの園にブラスを出していただき、手作り雑

がんばって!



ファミリーレクリエーション

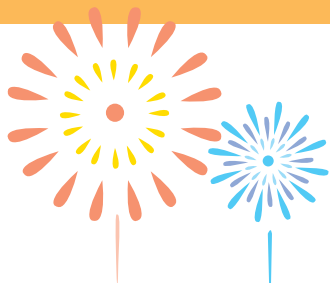


貨の販売、くじ引き、缶バッチの作成・販売がありました。本日撮影した写真を思い出に缶バッチにしているご家族もたくさんいました。

外出しにくいご時世だったり、近所の夏祭りが中止になったりする中で、少しでも季節を感じてもらえたら良いなと思います。今年も暑い中、たくさんの方に参加していただき、ありがとうございます。(高橋沙)



わあ〜楽しい〜



納涼祭
 8月17日に季節の行事として、各ユニットで納涼祭を行いました。ユニット2は、午前中にビンゴ大会を行いました。25マスの中に数字を書いて頂く所から始まり、数字を順番に入れる方、バラバラに入れる方と自由に書いてビンゴの始まりです。箱の中から数字が書かれた紙を選んで頂き中盤に入ると「リーチ」「ビンゴ」の声が聞

納涼祭

さくら福寿苑

地域密着型特別養護老人ホーム



こえ、とても盛り上がりました。景品は日頃必要とする物を用意しました。皆さんに喜んでもらう事ができ、楽しい一時を過ごせた事がとても良かったと思えました。

今年の昼食は屋台が並び、唐揚げや綿あめなどを堪能しました。

ユニット1は、午後から輪投げ大会を行いました。足元から遠くに設置されたボウリングのピンに向かって懸命に投げている皆様の姿が印象的でした。

また、夕食後には玄関前で打ち上げ花火を行い、少しですが夏の風物詩を体験していただけたかと思えます。コロナウイルスの感染拡大が終息したら大きな花火を見に皆様と出掛けたいものです。

(石川佳)

敬老会

9月19日にユニット合同による敬老会を行いました。

はじめに104歳と施設の中で最高齢の女性の方へ施設長からお祝いの花束を贈呈し、職員からは職員が寄せ書きした色紙をプレゼントさせていただきました。

続いて百寿・白寿・卒寿・米寿・傘寿を迎えたご利用者の方々へお一人ずつ同じように花束贈呈やプレゼントをお渡ししました。

贈呈式が終わった後は、秋にちなんだ歌の合唱、もみじ、村祭り、たき火、赤とんぼ、ふるさとなどピアノの生演奏に合わせて歌いました。懐かしい歌を歌い、皆さん思い思いに楽しまれ、アンコールが出るほど大盛り況でした。

一通り歌い終わった後は、敬



老会にちなんだクイズ大会を行いました。クイズに正解したご利用者にはちょっとした景品がもらえる事もあり、正解した方の中には声を上げて喜んでいらっしゃる姿が印象的でした。

久しぶりのユニット合同開催となりましたが、集まった皆様の沢山の笑顔と笑い声を聞く事ができ、楽しい時間を過ごすことができましたと思います。

(角)

ベント



お祭り
三昧

さくら千手園フェスタ

「楽しむぞ。お〜！」の掛け声と共に始まったさくら千手園フェスタ。まず、昼食では『ステーキ』と『ロングポテト』のキッチンカーが来てくれました。昼食前から園内に美味しそうな香りが漂い、皆さん気になる様でワクワクした様子で中庭に集まって来ます。キッチンカーを見ると「何作ってるの？」と嬉しそうに職員に尋ねている利用者もいました。いざ食べ始める。「ステーキが美味しい。」「ポテトが大きい。」「量がたくさんあって嬉しい。」等といった声が上がりました。また、厨房職員特製のラーメンも大人気でした。飲み物はジュースやノンアルコールビールも選べて皆さん美味しそうに飲んでいきます。昼食を食べ終わったら次は職員アトラクションの時間です。「気分上々」「Habit」の楽曲に合わせてながらダンスを披露してくれました。手拍

子で盛り上げたり一緒に踊っている利用者もいました。日々練習を頑張ってきた成果もあり、職員・利用者共にとても楽しんでいました。



その後、ゲーム、軽食、抽選会を楽しみ、いよいよ夜の部の始まりです。花火を行う前に最後の職員アトラクションを行いました。YAO SO BI の「怪物」に合わせてサイリウムを光らせる。「わあ、綺麗〜。」と声が上がります。曲の終盤にサイリウムを目の前にいる利用者者にプレゼントし、メガ大閃光に持ち替えサイリウムの色が変わると「明るくなったね。」「すごいね。」「大きいね。」と利用者同士で話し、中には「感動した。」と話してくる利用者もいました。そして興奮冷めやらぬまま、すぐに打ち上げ花火を行いました。夏には見られなかった花火を見て大きな歓声が上がりました。新型コロナナウイルスの影響で行事が減ってしまいました。今回の千手園フェスタはとても大きな行事になり、利用者の心に残る思い出ができたのではないかと思います。新型コロナウイルスに負けず、来年も楽しむぞ。お〜！

(森谷)

キッチンカー



木の宮フェスタ



秋深まる今日この頃……実りの秋として、木の宮学園にて収穫祭を模した木の宮フェスタを行いました。

午前は、6ブースを回りました。マシユマロバーベキューや芋掘り、魚釣りといった季節を意識したものの他にも、仮装写真撮影やダンス、モルックを行いました。芋掘り、魚釣りでは中身にお菓子をいれ、とれたものはお土産です。なかには、中身の入っていない偽物もあり……手にしたものをじつと見つめて確認しています。マシユマロバーベキューでは、割りばしにさしたマシユマロを



秋のイ

福寿苑大運動会

コロナ禍で、中止となっていた千手会フェスタ。代案としてユニット2では恒例の秋の大運動会。開始時間の10時、1番張り切っていたのは、ご利用者でも職員でもなく、石川施設長でした。石川施設長の開会の挨拶からスタート。ご利用者も真剣にお話を聞いていました。



もう少しで届くのよ!
がんばれ!

まずは「高原列車は行く」を全員で合唱し、ラジオ体操。皆様、体が覚えているんですね、何も見なくても自然と動いていました。

ご利用者お二人による選手宣誓は、力強く今年の運動会は本格的です。赤組と白組に分かれ、まずは玉入れ。色とりどりのボールをお配りし、「よい、スタート」の掛け声で一斉に開始。赤組、白組ともに凄い勢いで投げ入れました。続いては筒持ちゲーム。お隣の方と力を合わせて盛り上がりました。次にシュートトラックアウト、そして最後はパン食い競争。

全ての競技を終え、点数にびっくり。何度も計算しました。まさかの同点。全員が優勝者です。劇的な結末で今年の運動会は終了。来年の企画の楽しみが膨らみました。(鈴木淑)



マシユマロ
美味しいね!



炭火でじっくりと焼きます。とろりと焼けたマシユマロはクラッカーに挟んで美味しく頂きました。

昼食はキッチンカーに来ていただいて、からあげ弁当やちびたいドーナッツ、ジュースを楽しみました。

午後には、木の宮館内を利用したの宝探しを行い、皆さんなかなか見つからず、時間がかかったチームは30分ほどかかって発見!宝物のおやつを美味しく頂き、いつの間にか食欲の秋?元気に動いて沢山食べて、楽しいイベントとなりました。(佐藤貴)



法人職員研修

障害者の虐待防止と

身体拘束等の適正化について

今回は入職4年以上の職員を対象に実施いたしました。法人虐待防止委員会の山本委員長から委員会設置の経緯など基本的な内容の確認から始まり、グループに分かれて2つの事例検討を行いました。日常業務の中での自身の行動を振り返り、虐待に近いと感じることはないか、職員の中で決めていくことはできないか、利用者主体の支援ができていくか、コロナ禍で交流の機会が減少している他施設の職員と、活発な意見交換が繰り返りひろげられました。



続報！ご当地メニュー

全国制覇目指して奮闘中!!



【山梨県】
ほうとううどん
ぶどう



【沖縄県】
タコライス
サーターアンダギー
ゴーヤチャンプル



【長崎県】
ちゃんぽん
カステラ



ご寄付に感謝いたします

木の宮学園「虹の会」様

佐倉ライオンズクラブ様

ヤックスドラッグ印旛日医大店様

よろしくおねがいします

- ①趣味 ②特技 ③出身地
- ④マイブーム ⑤好きな有名人

近藤 友香 (さくら手園・事務員)

①ドラマ鑑賞 ②特になし ③千葉県佐倉市
④ガーデニング ⑤杉咲花

小川 洋美 (木の宮学園・生活支援員)

①ネイル ②お菓子作り ③千葉県 ④孫と遊ぶこと ⑤ドリームズ・カム・トゥルー

菅原 由美子 (木の宮学園・生活支援員)

①韓流ドラマ ②羽生結弦の話 ③千葉市 ④韓流ドラマOST ⑤羽生結弦

中井 雄規 (さくら福寿苑)

①マンガを読む、宅飲み ②ボクシング ③北海道 ④サイクリング、たこ焼き作り ⑤井上尚弥

異動

渡邊 洋介 (さくら福寿苑)

10月1日付さくら手園へ

神田 昭 (木の宮学園)

11月1日付さくら福寿苑へ

おめでとうございます



甲田 蓮 (さくら手園) 瑛彩くん 7月30日

お世話になりました

並木 俊子 (山桜)

黒田 裕子 (木の宮学園)

松下 浩美 (さくら福寿苑)

清水 真紀子 (さくら福寿苑)

編集後記

「ラニーニャ現象の影響で『今年は秋がない』と話題になる程、厳しい寒さが予想されています。今号ではコロナウィルスの規制も緩和され、行事や外出などの記事が盛り沢山となりました。私が編集に携わる中で1番の楽しみにしている写真選びは、「全部見てもらいたい!」と思う程に素敵な写真が多く、悩まされました。ここには載せられなかった写真にも沢山の笑顔があり、「今年の冬もそんな笑顔や皆の元気で温かく乗り越えられるんだらうな」と思っています。今号がご家庭での話題の一つになりますように。(三橋)